

史跡 亀ヶ岡石器時代遺跡

(読み方) しせき かめがおかせつきじだいいせき

(英語) Kamegaoka Burial Site

【所在地】

青森県つがる市木造

【年代】

紀元前 1,000 年～紀元前 400 年 (約 3,000～2,400 年前)

【キャッチコピー】

芸術性豊かな土偶や多彩な副葬品が出土した共同墓地

【説明文：99字】

海進期に形成された古十三湖に面した大規模な共同墓地。台地上に多数の墓が構築され、その周囲の低湿地からは芸術性豊かな大型遮光器土偶をはじめ、漆塗り土器や漆器などが多数出土し、精緻で複雑な精神性を示す。

【説明文：144字】

海進期に形成された内湾である古十三湖に面した大規模な共同墓地。台地上に多数の墓がみられ、その周囲の低湿地には捨て場が形成され、漆塗り土器や籃胎漆器、玉類などが多数出土している。なかでも大型土偶（国指定重要文化財）は、その眼部の表現が「遮光器土偶」の名称の起こりとなったことで知られている。

【説明文：247字】

海進期に形成された内湾である古十三湖に面した大規模な共同墓地。台地上には墓域が広がり、その周囲の低湿地には祭祀場としての捨て場が形成されている。捨て場からは、土器・石器のほか、漆塗り土器、籃胎漆器、植物製品、玉類などが多数出土している。なかでも大型土偶（国指定重要文化財）は、その眼部の表現が「遮光器土偶」の名称の起こりとなったことで知られている。墓の数に比べて堅穴建物の数が極端に少なく、土坑墓が多数群集していることから周辺の複数の集落によって構築、維持・管理された共同墓地と考えられている。